

BALL TEST DATA

【セールス資料】

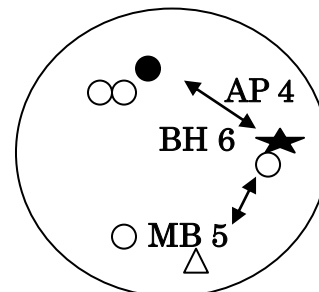
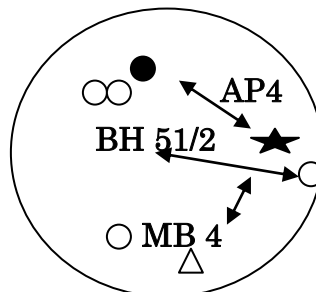
BALL NAME: HYPER CELL FUSED
COLOR: JET BLACK / SILVER / VIOLET
WEIGHT BLOCK : NUCLEUS CORE
COVER STOCK: e TRAX-H18™ HYBRID REACTIVE
RG : 2.52 Δ RG:0.056 ID:0.018
FACTORY FINISH: 1500-Grit POLISHED
TRACK FLARE POTENTIAL: HIGH
BACK END:19 (1-20) MAX LENGTH : 16 (1-20)



平成 29 年 11 月 18 日

レイアウト例

PURE CELL HYPER CELL FUSED



CA52 度

CA52 度

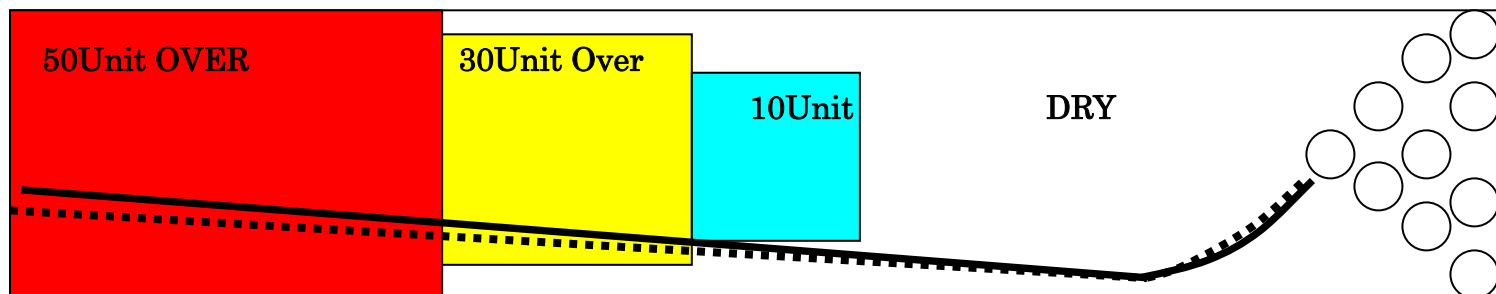
フレア幅 最大 63/4 ・ 間隔 1/8

最大 6 3/4 ・

O	LONG			
I	MEDIUM			
L	SHORT			
		Light	Medium	Heavy

適正レーンコンディショニンググラフ

【ミディアムレーン 編】



OF 15F 37F 40F
 比較品ライン HIPER CELL PURE CELL

【レーン状況】 ベースコンディションはミディアムクラスのレーンで、ピン側は手拭きにてレーンクリーニングを行いました。

【製品比較表】

曲がり度	1	2	3	4	5	曲がり方	アーク	1	2	3	4	5	シャープ
スキッド	1	2	3	4	5	オイルの強さ	1	2	3	4	5		
ピンアクション	1	2	3	4	5	テスト品	○	比較品	△				

*上記の数字は、1側が少ない(短い・弱い) 5側が強い(大きい・長い)

【ボール総合評価】

この Hyper Cell シリーズは初代がオイルへの強さを誇り、二作目の SKID は名前の通りに走りが出て、バックエンド幅も大きく曲りが出る中間的な存在でした。今回の Hyper Cell Fused はレーン手前から転がりが出るのですが直進性が強く、薄いオイルでも使用可能でした。もちろん使用している NUCLEUS コアは一定な曲りが出るので投げ易い製品です。

【ここがポイント】



ハイブリッド素材の特長として転がり感のある直進性能があげられますが、滑る事で起こるブレークポイントのブレは結構致命的な失投に繋がります。このブレを解消させるのが継続性のある転がり、NUCLEUS コアは全体的に同一の転がり得られるので、ブレが少ない印象です。今回は直進性能が強いのですが細かな軸移動(フレア)からくる曲りはアーク状で優しく、曲がる位置を合わせ易い事で夜のリーグ戦やミディアムになってからは最強です。